

生活者・生産者をむすぶ生活クラブ(エス)を楽しみ、参加する(エンジョイ & ジョイン)ための情報提供がジョイエスの役割です



太陽のエネルギーは熱や光、作物をつくることにもいかされています。再生可能エネルギーの活用をでんきの連続講座で学びました(関連記事 P3)

P4-5 生活クラブ運動グループ 品川区地域協議会 生活クラブ運動グループ 町田市地域協議会

P2 JFSA 衣服・毛布・バッグなどの回収にご協力ください

P3 みんなに知らせたい!【企画開催報告】
・でんきの連続講座

P6 イベント案内(展示会・協同村など)

P7 リレーコラム「地域に資する生活クラブでんき」
わたしの声Q&A・わたしの声カード など

P8 市民と行政の地域協議会を開催しました

組織の概要(2022年8月末現在)

- 組合員数(デポー含む)92,824人 ●8月度加入638人/脱退600人
- 8月度利用高17億1,770万円/世帯あたり23,478円(デポー除く)



実施報告

ウクライナ市民へ 人道支援のための緊急カンパ

生活クラブでは、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の被災者(ウクライナ国内と周辺国への難民)を



救援するカンパを4月~5月に呼びかけました。

生活クラブ全体のカンパ額は55,423,767円(内、生活クラブ東京14,728,377円)でした。

寄せられたカンパ金は、日本赤十字社の「ウクライナ人道危機救援金」へ寄付をいたしました。

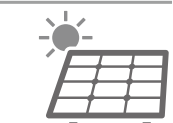
ご協力いただき、ありがとうございました。

みんなに知らせたい！企画開催報告



でんきの連続講座(全4回)

原発に頼らず、再生可能エネルギー中心の社会を実現するために、私たちに何ができるのか。
環境政策委員会主催企画として、気候危機、再生可能エネルギー、脱原発をテーマに、全4回の連続企画を開催しました。
第1回～3回をダイジェストでお知らせします。



第1回 7/2 気候変動アクション 30 ～未来のためにできること～

講師：高橋 真樹さん（ノンフィクションライター）

『こども気候変動アクション 30』を上梓した高橋さん。子どもたちの実践やアイデアには、大人も学ぶことが多いと感じられたそうです。気候変動アクションのポイントは、①がんばりすぎずに「楽しく」②1人ではなく「仲間をふやす」③「背景やしぐみ」を意識する の3つとお話され、実践例を伺いました。（参加人数 30人）

みんなで楽しく！できる方法を探して取り組もう

世界各地で起きている異常気象や災害などは、国際的には気候変動の影響と報道されています。一方、日本では原因を追究する意識が希薄です。個人の暮らしから社会のしくみまで転換しなければ、気候変動による影響は抑えられません。次世代の可能性を奪わないために気候変動対策に取り組む必要があります。

まずは「ごみ削減」「電気の切替え」「ガマンしない省エネ」から始めましょう。例えば日本では、水分量の多い生ごみの大部分を焼却処分しています。つまり大金をかけて外国からエネルギーを買って水分を燃やし、気候変動を悪化させているのです。まだ行動していない人を責めるのではなく、楽しく参加できるよう、うまく巻き込みましょう。いま行動することで、10年後にはそれが当たり前のルールになっているはずです。



高橋真樹さん

第2回 7/28 おしえて！永添さん！ おひさまエネルギーのこと ～親子でまなぶ太陽エネルギー@協同村～

講師：永添 一彦さん（一級建築士）

生活クラブ提携建築士の永添さんから、太陽エネルギーを活用した暮らしについてお話を伺いました。生活クラブの施設である「協同村ひだまりファーム」で開催し、太陽光パネルやおひさまシャワーなど太陽の熱や光を活用する方法を見聞かし、エコロジカルな生活について考えました。（参加人数 20人）

太陽エネルギーを預かる。エネルギーの循環を意識した暮らし

地上に等しく降り注ぐ太陽エネルギーは、誰にとっても身近な存在で、今まさに目の前を通り過ぎようとしています。太陽熱温水器や太陽光発電が普及し、取組みやすくなっていますが、2020年度の国内のエネルギー供給量の内、太陽を含む再生可能エネルギーの割合は約13%です。未だに遠く限られた場所にしかない石油等の化石エネルギーが、供給量の約85%を占めています。会場の協同村には、循環資源であるバイオマスエネルギーが蓄えられています。また、太陽エネルギーから温水や電気、農産物をつくっています。ただ、生産量には上限があり、季節により農作業の内容や景観も移り変わります。自分で修理・改良できる範囲の技術の活用や、日々の暮らしを見つめ直して「循環」を意識することが、エコロジカルな生活の実践につながるのではないのでしょうか。



永添一彦さん

第3回 7/30 「わたし」にできることから。 2011・3・11～ 今日まで、そして

講師：落合 恵子さん
（作家・子どもの本の専門店クレヨンハウス主宰）

「さようなら原発 1000万人アクション～脱原発・持続可能で平和な社会をめざして～」呼びかけ人の一人である落合さん。子どもの本の専門店クレヨンハウスから、オンラインで絵本や歌を紹介いただきながら、社会に対する想いを伺いました。（参加人数 78人）

「今」の私が七世代先の子どもたちに手渡す社会をつくる

広島詩人・栗原貞子さんの詩「生ましめかな」。これは栗原さんが被爆した時の経験をもとにつくられました。線状降水帯で大雨が降り、異常気象が通常気象となっている現在、多くの命が置き去りにされている状況が戦時中に重なります。クレヨンハウスでは、子どもから楽しめる本5万冊を置き、その一角に「絵本と一緒に平和を考える」コーナーを設けています。

みなさんには、何が正しいか迷った末に選択をしてほしいと思います。大事なこと、言いたいことは伝えていきましょう。「七世代先を考える」というネイティブ・アメリカンの言葉があります。地球は子どもたちからの借りものです。1つ選べば窓はひらきます。



落合恵子さん

第4回の報告はWEBサイトで公開しています

第4回 8/27 気候危機、だれかがなんとかしてくれる？ わたしにできること、考えよう。
講師：露木 しいなさん（環境活動家）



生活クラブでんきへの切替えて、脱原発・脱炭素の未来にスイッチ！

一人ひとりの電気の切替えが、再生可能エネルギーの普及につながります。

10/3～12/4 生活クラブでんき切替えキャンペーン実施中！
ご契約でリネンクロスをプレゼント



JFSA 衣服・毛布・バッグなどの回収にご協力ください

NPO法人JFSA(日本ファイバーリサイクル連帯協議会)は、古着を回収しパキスタンや国内で販売することで、子どもたちが無料で通う学校アル・カイルアカデミーの支援を行っています。生活クラブでも2000年から呼びかけを開始し、のべ37,900人以上の組合員が参加してきました。

受付期間：10月1日(土)～11月30日(水)到着まで

受付品目

【お願い】すべての品物は他のどなたかが再び利用します。汚れ、破れ、虫食い、毛玉などのないもので、洗濯済みのものをお送り下さい。受付品目以外のものはJFSAでは活用できませんので、お間違えのないようにご注意ください。

中古・新品 <衣類以外のもの(毛布など)>・毛布/綿毛布・タオルケット・シーツ/掛敷ふとんカバー(敷パッド不可)・カーテン(レース可)・タオル/ハンカチ類(新品と中古は分けてください)・テーブルクロス(大きいサイズ)・靴(新品同様、ロングブーツと上履きは不可)・大人用革製ベルト(新品同様)・ネクタイ・大人用手袋(新品同様)・帽子(麦わら不可)・スカーフ・ストール(マフラー不可)・バッグ類・ポーチ/財布類(カビ、傷み注意!)

<男性衣類>・Tシャツ/Yシャツ/ポロシャツ/カジュアルシャツ(長袖、半袖)・トレーナー/フリース・ジャケット/コート類(ジャンパー、ダウン、革ジャンなど)・スーツ上下セット・ネクタイ・短パン(水着不可)・セーター類(季節を問わず、夏物、カーディガン、ベストも可)・ジャージ(学校用不可)・長ズボン(新品同様、ビジネスラックス不可)・ジーンズ

<女性衣類>新品に近いもの(国内販売用)・ブラウス/カットソー/ポロシャツ(長袖のみ トレーナー/フリースは不可)・ワンピース・ジャケット/コート類(ジャンパー、ダウン、革ジャンなど)・ジャージ(学校用不可)・スパッツ・セーター類(季節を問わず、夏物、カーディガン・ベストも可)・長ズボン/ジーンズ(新品同様、7分5分丈不可)

<子ども服>・女児夏服(120まで、ベビー服可)・男児夏服(サイズ問わず)・冬服(120まで、ベビー服可)・甚平(上下セットのみ)・下着類(布おむつ、おむつカバーも可)

新品のみ・女性用下着(ブラジャー、ガードル、ボディスーツの3点は中古も可)・男性用下着(半袖、ランニング、ブリーフ、トランクス)の4点は中古も可)・靴下(ストッキングは不可)・エプロン・パジャマ・枕カバー

その他・未使用切手・書き損じハガキ・未使用カード類、金券類(換金してJFSAの目的に沿って使います)

送り先
お問合わせ先

〒260-0001 千葉市中央区都町3-14-10
NPO法人JFSA 千葉センター
☎043-234-1206(木曜日定休)

パキスタンのスラムで暮らす子どもたちの自立支援



技術訓練コースの女性たち(アル・カイルアカデミー本校)

アル・カイルアカデミー近況報告

地域の女性たちへの職業訓練が広がっています

伝統的な慣習で暮らす地域に、2020年秋、生徒も先生も女性だけの第8分校が開設されました。近くにある第5分校は共学のため、高学年の女生徒たちが学校をやめてしまうからです。

地域の女性たちが通う刺繍と縫製技術訓練のコースも作られ、50人ほどが通っています。今年から本校と第6分校でも同じコースが始まり、それぞれ150人、100人が参加しています。地域の女性たちは、夫からの暴力も含めて暮らしや子どものことなどさまざまな悩みを抱えています。職業訓練コースは技術習得の機会となるだけでなく、悩みを相談できる大切な場にもなっています。女性たちの支えあいは、子どもたちの学びを支える力になっていくことでしょう。

アル・カイルアカデミーとは

パキスタン最大の都市カラチ市と北部バラコートにある無料の学校。生徒の多くが厳しい暮らしをしており、働きながら学んでいる生徒もいます。1987年に開校し、2022年4月現在、学校は10校、生徒数は約4,500人で210人の先生と40人のスタッフが働いています。

送り方

- ・シーツなどの大きい布で包むか、ビニール袋(二重にしてください。ゴミ袋も可)または紙袋に入れ、破れて中身が出てしまわないようにしっかりとヒモをかけ、郵便・宅配便でお送りください。
- ・段ボール箱は使わないでください(保管場所、作業効率の問題のため)。
- ・古着の回収は支援事業であり、リサイクル活動です。JFSAまでの送料のご負担をお願いします。
- ・送り状の**お名前**の後に、**団体名**の「生活クラブ東京」と「荷物の重さ」をお書きください。
- ・ご協力いただいた方には、JFSAより活動情報をお送りします。

※受付品目や送り方などの詳細はお問合わせください。

詳しくは
電話または
WEBで



<お持ち込みの場合>
直接持ち込みの場合は予約が必要です。
<https://jfsa.jp>で予約できます。
お電話でも受け付けています。

生活クラブ運動グループ 町田市地域協議会

2016年に策定した「市民版地域福祉計画」をもとに、「たすけあいのまちづくりin町田（町田市市民版地域福祉実行計画）」を実践するために活動を進めています。生きもの観察会や映画会などイベントの他、ひとこと提案（市政要望）をより多くの人で考えられるよう、「まちまちカフェ」を複数回開催するなど力を入れています。今後も、生活クラブ館まちだを拠点に、子どもの権利・学校給食をテーマとして活動していきます。

町田市地域協議会メンバー

- ・NPO 法人 みずきの会
- ・NPO 法人 たがやす
- ・NPO・ACT まちだ居宅介護支援事業所
- ・ワーカーズ・コレクティブ Harmony
- ・まちの縁がわ・町田
- ・企業組合 セミニヨン
- ・まちび〜んず
- ・町田・ワーカーズ まちの縁がわ小山田桜台
- ・町田 ACT
- ・多摩南生活クラブ生協 まち町田西／まち町田中央／まち町田南
- ・町田・生活者ネットワーク
- ・企業組合 ワーカーズ・コレクティブ凡
- ・NPO 法人 菜の花・まちだ
- ・企業組合 ワーカーズ・コレクティブ轍あい
- ・NPO 法人 ACT 町田たすけあいワーカーズ



町田・ワーカーズ まちの縁がわ小山田桜台



▲毎月抽選になる人気のレンタルボックス。ボックスオーナーの約9割は徒歩圏内の地域住民です



▲さくらさくらの前の販売コーナー。土・日・木は弁当・惣菜の販売、火は週替わりで蒸しパンとお焼き、焼き菓子とパンの販売を行っています

地域の中で気軽に話し合える場がほしいと、顔見知りの6人で小さなお茶会を場所を変えながら開催していましたが、そんな中、団地商店街の二画が空くことを知り、「みんなの居場所」になる拠点を作り活動してみようと思ったのが設立のきっかけです。

当初、大きなテーブルを囲み皆で集う企画を行いながら、運営資金を作っていたと考えていましたが、コロナの影響で計画を変更せざるを得ませんでした。近隣の桜美林大学の教授の助言もあり、フロアの半分を厨房にし、総菜・弁当の販売を活動の中心に据え、2020年に「ほっとスペースさくらさくら」をスタートしました。

主な事業は、ほっとスペース事業（惣菜・弁当などの販売・レンタルボックスなど）、ほっとサービス事業（買い物、ゴミ出しなど日常の困ったをお手伝い）です。特技を活かしたい方、起業に向け地域で働きたい方がメンバーとなることで、事業の幅や奥行きが広がっています。起業支援でスーパーストアと壺焼き芋屋が独立しましたがメンバーに



▲蒸しパンとおやきの販売日。得意なことを活かし、やりたいことを実現できる場になっています

活動していく中で、さくらさくらの隣の店舗が空くことを知り、厨房が半分を占めるさくらさくらではできなかった、多世代の交流拠点を作ろうと考えました。まちづくり協議会・自治連合会・自治会・桜美林大学に声をかけ、準備会を発足し活動を始め、今年5月に「小山田桜台・地域交流スペースよりみち広場」が新たにスタートしました。



町田・ワーカーズ まちの縁がわ小山田桜台

代表

石毛鏐子さん(写真中央)

副代表

田原てる子さん(写真左)

事務局長

木野直美さん(写真右)

生活クラブの組合員活動に頼りすぎず、活動が外へと広がるように心がけています。すでに地域活動をしてきた団体や自治会・桜美林大学などさまざまな団体や人が事業に関わるように、つながりを大切に活動しています。

空き店舗の改修のため、6つの助成金に応募し、インクルーシブ事業連合など5つの団体からの助成を受けることができました。改めて市民活動における市民基金の重要性を感じました。

コロナ禍で活動をスタートし、一時は活動休止をしたこともありましたが、ふらっと立ち寄り30分話して帰られる方や「故郷の思い出の味を再現してほしい」と、メニューをリクエストされる方を見ると、買い物を通じて顔見知りになり、関係性が生まれ、地域に必要とされている場所になれていると感じます。

行政からの支援についての情報が届いていない方がいること、独居の男性の顔が見えにくいことなど、活動をする中で見えてきた課題もあります。新しくできた地域交流スペースを活かし、「都会的なおせっかいのやさしさ」でさらに人の輪を広げていきたいと思っています。

生活クラブ運動グループ 品川区地域協議会

品川区地域協議会メンバー

- ・23区南生活クラブ生協 まち品川
- ・品川・生活者ネットワーク
- ・高齢者交流会 <ついたち会>
- ・品川たすけあいワーカーズ・たんぽぽ
- ・子ども食堂ふたば
- ・ママの会@しながわ

月に1度集まりをもち、6団体で連携しながら活動しています。例年の活動としては、せつげんの利用を通して水環境を守る活動の一環として、行政に働きかけることや、目黒川の水质調査を行っています。最近では、ゲノム編集トマト苗の無償配布反対の陳情を、地域協議会として区議会に提出しました。品川区立環境学習交流施設「エコルとこし」に団体登録できたので、そこで企画を開催し地域へ活動を広げていきたいと考えています。



子ども食堂ふたば



▲この日は25組の予約があり、10組は会場で食事を、15組はフードパントリーを利用していました



▲季節の行事も大切に、この日は七夕の願い事を飾りました

コロナの影響で、活動休止やフードパントリー*のみに活動を縮小したこともありましたが、2022年6月より予約制で会場での食事提供を再開しています。

活動のきっかけは、代表・小野さんの「このまちでも子ども食堂をやりたい!」の思いから。地域協議会へ話を持ち込み、場所探しからスタートしました。ちょうど地域協議会でコミュニティカフェの地域での活用を模索していたので、小野さんにつなぎ、品川区二葉で月1回子ども食堂を始めることになりました。(現在は二葉四丁目会館にて活動中)



▲有志のスタッフの協力のもと、夏野菜カレーを提供しました

「品川子ども食堂ネットワーク」にも加入し、社会福祉協議会に寄付される食材を活用したり、地元企業からのお弁当の寄付はフードパントリーで無料配布しています。



子ども食堂ふたば
代表 小野幸子さん(写真中央)とスタッフのみなさん(後列)

活動を始めて約6年になりましたが、回を重ねるごとに増えていく参加者に活動の必要性を感じています。

地域協議会ニュースでの広報の他、毎回顔を出してくれる方とは連絡先を交換し個別に連絡も取っています。

本当に必要な子どもに食事を提供できることを模索しながら、地域の子どもの居場所となるように、今後も活動をしていきたいと思っています。随時お手伝いしてくれる方も大募集しています。

▼生活クラブ運動グループ・地域協議会

生活クラブの事業や行政ではカバーしきれない分野の課題を、組合員自らの手で取り組んでいったのが、ワーカーズ・コレクティブやNPO団体などの市民事業です。生活クラブの運動を広げていく仲間として「生活クラブ運動グループ」と呼び、お弁当や食品製造、生協委託業務、カフェ、保育、介護などさまざまな運動グループが各地で活躍しています。地域ごとの課題を共有し活動連携するために、自治体ごとに集まり組織化したものが「生活クラブ運動グループ地域協議会」です。

*フードパントリー：企業や一般家庭から寄付される食料を、生活困窮世帯などに無料で直接配布する活動。



生活クラブ東京 50周年記念
まんがでも運動グループの歴史を紹介しています。



Q わたしの声 Q & A

Q: 有機農産物と「あっぱれ育ち」の野菜は何が違うのですか？

A: 有機栽培、オーガニックなどと表示するには有機 JAS 法で定義された栽培を行い、認定を受けなければなりません。認定には費用がかかり、シールも有料なので、実際には無農薬栽培をしても有機認証をとっていない農家も多くあります。「あっぱれ育ち」野菜は、栽培期間中化学合成農薬・化学肥料を使わずに育てたものです。有機 JAS 認証のように「2 年前からの不使用」はあえて要件からはずし、有機栽培に挑戦する農家のハードルを下げ、より多くの産地での有機栽培への転換をめざしています。

生活クラブの野菜はすべて、化学合成農薬や化学肥料はできるだけ使わず、栽培履歴を明らかにすることが基本です。2016 年から、野菜の育て方や品種の違いで注文できるよう「あっぱれ」「はればれ」「たぐいまれ」が誕生しました。価格も変えて差別化したことで、組合員の選択肢が増え、生産者の生産意欲にもつながっています。

配送の方へ\予約をして生産者を応援！／

「予約・あっぱれはればれ野菜おまかせ4点セット」

予約注文番号

毎週：**803581**

隔週AC週：**803582** 隔週BD週：**803583**

e くらぶでは「よやくらぶ登録ページ」から予約できます。



東京理事の リレーコラム

「地域に資する生活クラブでんき」

7 月 23 日～ 24 日に秋田県にかほ市で開催されたでんきの組合員リーダーツアーに 3 年ぶりに参加しました。ツアーの目的は、でんきを推進するリーダー層が実際に生活クラブ風車「夢風」を訪れ、「地域の脱炭素化と地域循環経済」をテーマに開催されるフォーラムに参加することで、自分たちで「見て・聞いて・学んで・感じて」多くの組合員に伝える材料をたくさん得ることでした。2010 年秋「生活にかかせないエネルギーを自分たちでつくるチャレンジ」「原発や大規模集中型から地域分散型の再生可能エネルギーの実践」「エネルギーを市民が自治する運動のスタート」として風車建設の組合員討議が始まり、2011 年 6 月通常総代会で建設を決議しました。「地方で発電し都市部で使うだけの原発と同じ構造にはしたくない」「でんきも共同購入と同じ対等互惠ですすめる」ことをめざしてきました。にかほ市と協議を重ね、「地域間連携による持続可能な自然エネルギー社会に向けた共同宣言」を結び、人と人の交流事業とにかほ市の物産の共同購入に取り組んでいます。生活クラブでんきに変えることは、私たちの暮らしを変えること。そしてでんきを使うことは風車のある地域の産業につながっています。未来に向けて地域に資するでんきへのスイッチングを！
(生活クラブ東京 理事長 増田和美)



8 月 理事会報告 議事抜粋

●「でんきの市場価格高騰への対策を求める署名」の実施提案 ●「総括および方針策定資料 2023」の体裁とスケジュールについて ●神奈川単協 11/12 第 9 回東日本大震災・復興まつりの協賛と出展について ●生活クラブエコロこども基金 6 月審査会報告 ●生活クラブエコロこども基金 ワーカーズによる食の提供支援に対する助成



わたしの声カード

生活クラブや消費材への意見・要望、企画申込みはこの用紙で。

回答は、組合員活動の経験を活かして専任スタッフが答えしています。

ご希望のイベント名をご記入ください

〈お願い〉 ご記入の内容について該当項目に○をつけてください。

①提案・要望・質問 ②みんなに伝えたいこと ③ジョイエスの感想 ④企画申込み ⑤その他
●質問には 2 週間程度でお答えしていますが、詳しい調査が必要な場合などさらに時間をいただくことがあります。
※事故品の連絡は現物を保存のうえ、すぐにコールセンター・デポーにお電話ください。生鮮品の報告は翌週末です。
※配送をご利用の方は配達便に、デポーをご利用の方は各デポーのフロアーワーカーズまでご提出ください。

※ご記入いただいた情報は目的以外、または次の条件以外では第三者に開示しません。

①ご本人の同意がある時 ②ご本人と特定できない状態で開示する時 ③生活クラブの関連団体、提携先より回答することが望ましい場合。

生活クラブ東京 WEB サイトからも提出できます。みなさんの声をお待ちしています。

生活クラブ東京 わたしの声

検索



展示即売会

紳士・婦人スーツのお仕立て

●デポー展示即売会

サイズはもちろんデザインもこだわり、細かいところまで好みにあわせてお仕立ていただけます。約 4 週間でお届けいたします。

○デポー八王子みなみ

10 月 8 日 (土) 9 日 (日) 10:30 ～ 17:30

会場 & 問合わせ：デポー八王子みなみ

(八王子市別所 1-69-5)

TEL：042-670-3099

○デポーせたがや・生活クラブ館

10 月 15 日 (土) 16 日 (日) 10:30 ～ 17:30

会場 & 問合わせ：デポーせたがや

(世田谷区宮坂 3-13-13)

TEL：03-5426-5211

同時出展：東京真珠 (宝飾品)

○デポー東村山

10 月 29 日 (土) 30 日 (日) 10:30 ～ 17:30

会場 & 問合わせ：デポー東村山

(東村山市久米川町 3-32-44)

TEL：042-399-7151

●赤堤館お仕立て会

要予約

11 月 3 日 (木) ～ 11 月 6 日 (日)

10:00 ～ 16:00

会場：生活クラブ赤堤館 (世田谷区赤堤 4-1-6)

予約電話番号：03-5300-4688

(10:00 ～ 16:00 定休日：水・日)

中間マージンを通さない生地仕入れルートによるコストパフォーマンスの良さやオプションの豊富さでさらに他との違いを実感してみてください。

展示会関連

TEL 03-3324-4502 (10:00 ～ 16:00)

定休日：水・日 (祝日の場合は営業)

●きく屋宝石店 秋の宝飾展示会

10 月 14 日 (金) 11:00 ～ 20:00

10 月 15 日 (土) 10:30 ～ 19:00

10 月 16 日 (日) 10:30 ～ 18:00

会場：東京交通会館 12 階 ダイアモンドホール

(千代田区有楽町 2-10-1)

フォーエバーマーク認定店のきく屋宝石店が新作ジュエリー展示会を開催いたします。新作ジュエリーや特別ご提供品、展示会にしかないジュエリーまで多数取り揃えています。

●パラマウント 靴の内覧会

要予約

11 月 11 日 (金) 12 日 (土) 9:00 ～ 18:00

予約受付期間 10/24 ～ 11/4 (先着順)

会場：ボディア飯田橋店 (新宿区新小川町 9-6)

男女靴、ウォーキングシューズ、子ども靴他。インソール調整、修理、足と靴のお悩み相談も受け付けます。詳しくは 10/17 ～配布のチラシをご覧ください。

●天地堂 ランドセル

人気のカラーから品切れになります！ご注文の方にはもれなく「木製ネームタグ」と「ランドセルカバー」をプレゼント！カタログご希望の方は、お電話または右上の二次元コードより WEB でお申し込みください。

事業企画課

TEL 03-5426-5206

協同村

豊かな自然の中で、農業体験やキャンプなどが楽しめる生活クラブの施設です。

入材料：510 円 (4 歳～小学生 310 円)
※イベント参加者は 200 円引きとなります。
(期間：9 月 1 日～3 月 15 日)
駐車料：600 円／1 日 休村日：火・水

生活クラブ主催企画

●石積みワークショップ

11 月 5 日 (土) 6 日 (日) 10:00 ～ 15:00

参加費：1,000 円／1 人 (入材料を含む)

※2 日間参加の方は、2 日間通して 1,000 円

定員：各日 5 家族

協同村の石垣をコンクリートやモルタルを使わない「野面積み (空石積み)」で積んでいきます。(昼食付き)

ワーカーズ・コレクティブ草の実主催企画

●石窯ピザ焼き体験

10 月 8 日 (土) 9 日 (日) 10 日 (月) 23 日 (日)

11 月 20 日 (日) 11:00 ～ 13:00

参加費：1,600 円／1 人

ピザ生地を伸ばしてトッピング。石窯に入れて焼きます。

NPO 法人地球野外塾との共催企画

●手作りシェルターデイキャンプ

10 月 30 日 (日) 9:30 ～ 16:00

参加費：5,000 円／1 人

携帯性に優れたエマーゼンシーシートをシェルター作りと調理に活用し、アウトドアでの応用につなげます。

●十徳ナイフ徹底活用デイキャンプ

11 月 6 日 (日) 9:30 ～ 16:00

参加費：5,000 円／1 人

十徳ナイフを余すことなく使いこなすデイキャンプ！

協同村・綿サークル主催企画

●さつまいものつるでリースを作ろう！

10 月 30 日 (日) 11 月 13 日 (日)

10:00 ～ 13:00

参加費：500 円／1 人

定員：各日 10 家族

さつまいものつるでリースを作り、コットンボールで飾り付けます。焼き芋も行います。

協同村ひだまりファーム

あきる野市戸倉 863

TEL 042-596-0103

生活クラブの学校

CS まちデザインとの共催企画

●市民農園を耕そう！

～市民農園でおいしい野菜をつくるには～

10 月 22 日 (土) 14:00 ～ 16:00

講師：白石好孝さん (練馬農家)

会場：練馬区白石農園

受講料：1,425 円

市民農園を借りて自力で 1 年間野菜をつくれるようになるためのノウハウをプロの農家から学びます。農園の借り方から、作付け計画の立て方、種のまき方…と基本の「き」からスタート。白石農園で実際に見てみましょう。

◇詳細・お申込みは CS まちデザインへ

CS まちデザイン

検索

NPO 法人 CS・まちデザイン

TEL 03-5426-5212

生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合との共催企画

●働きにくさを抱えた人も、共に働く場を増やそう！(オンライン併用)

10 月 22 日 (土) 14:00 ～ 16:00

報告：NPO 法人 VIVID フレッシュスタート目白
管理者 遠藤伸さん

参加費：無料

会場：生活クラブ館 (世田谷区宮坂 3-13-13)

働きづらさを抱える人と共に働く場を広げるため、取り組み事例を共有します。高次脳機能障がい者の社会参加を支援する NPO 法人 VIVID が運営するフレッシュスタート目白の基調報告のほか、2021 年度事業所指定寄付募集团体が活動を報告します。

生活クラブ運動グループ・

インクルーシブ事業連合

TEL 03-5426-5207

環境政策委員会主催企画

●せっけんフォーラム (オンライン併用) 100 年後の水を守るためにできること

11 月 3 日 (木) 14:00 ～ 16:00

講師：橋本淳司さん (水ジャーナリスト)

受講料：無料

会場：生活クラブ館 (世田谷区宮坂 3-13-13)

柔軟剤などにも使われるマイクロカプセルによる海洋汚染の状況と、せっけんを使う意義を学びます。

政策推進課

TEL 03-5426-5204

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、企画内容が変更、または中止・延期となる場合があります。ご了承ください。

都政に私たちの思いを伝えよう！

市民と行政の協議会を開催しました



協議会は都議会会議室とオンラインを併用し開催しました

1994年、市民と行政のパートナーシップによる、特色あるまちづくりの実現をめざして、都議有志の仲介で「第1回市民と行政の協議会」が開催されました。市民と行政の協議会では市民団体が連携し、特定のテーマについて行政の担当局と政策協議を行っています。

今回の「第20回 市民と行政の協議会」は、脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギーの普及をテーマに、複数の市民団体等と共に実行委員会を立ち上げ、東京都の担当者との協議を行いました。



第1回実行委員会とあわせて、座長の吉田明子さん(FoE Japan)を講師に事前学習会を開催

地域で活動する団体と連携し、東京都への提案をまとめました

都内で再生可能エネルギーの普及や省エネルギー推進の活動を行っている市民団体や小売り電気事業者が集まり、「くらしから省エネ・再エネを進める」実行委員会を形成しました。東京都との協議に向けた事前学習会と3回の実行委員会、東京都職員への事前ヒアリングを行い、各団体の知見をいかして協議事項を取りまとめました。

東京都へ提案し、協議を行いました

7月21日、都議会会議室とオンラインでの参加を併用し、「2030年カーボンハーフ～くらしから省エネ・再エネを進める」と題して、第20回 市民と行政の協議会を開催しました。協議会には市民105人(会議室40人、オンライン65人)と都議会議員8人、東京都職員11人の計124人が参加しました。

実行委員から協議項目について提案し、担当部署からの回答を受けて意見交換を行いました。実行委員として生活クラブ東京の環境政策委員の大坪理事から、協議項目5(下記)について都営住宅に設置した太陽光発電施設由来の電気を、地域の防災に使うしくみを検討してほしいと提案しました。その他、協議項目11について、環境政策委員の高瀬理事から、学校での取組みの推進を提案しました。最後に、未来世代との連携として、会場で参加した大学生の田原さん(Fridays For Future Tokyo)から、気候市民会議の設置が提案されました。



気候危機対策を求めて活動している田原さんからも、未来世代として提案されました

協議項目

- 1.新設住宅への太陽光発電設置義務化について
- 2.既設住宅について
- 3.再エネ推進の手法として
- 4.地域ポテンシャル調査について
- 5.都営住宅への太陽光発電設置について
- 6.(公共施設の)ZEB(ゼブ)化*
- 7.防災対策におけるスマホ充電などの準備
- 8.地域における「相談」機能について
- 9.貧困や健康に着目して
- 10.政策の総合性
- 11.未来世代との連携について

*ZEB:Net Zero Energy Buildingの略。建物で消費するエネルギーの収支を、省エネと創エネによってゼロにすることをめざした建物のこと

「くらしから省エネ・再エネを進める」実行委員会 参加団体

- ・NPO法人 足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ
- ・認定NPO法人 FoE Japan
- ・一般社団法人 グリーンピース・ジャパン
- ・(株)生活クラブエナジー
- ・(株)UPDATER (旧:みんな電力(株))



- ・杉並・地域エネルギー協議会
- ・多摩電力合同会社
- ・生活クラブ東京

生活クラブ東京の
最新情報を
WEB・SNSで発信中！



WEB サイト



Facebook



Instagram